

会 議 録

1 会議名	第2回南砺市協働のまちづくり推進会議
2 議題（公開）	1. 委嘱書交付 2. 新委員の紹介 3. これまでの経過とこれからの流れの検討 4. 協働のまちづくり推進会議からの提言とその対応について 5. 今後の進め方について
3 開催日時	平成27年3月5日（金） 開会時間：午後7時／閉会時間：午後8時50分
4 開催場所	南砺市協働のまちづくり支援センター横 会議室
5 会議出席者	[委員：出席14名／全20名] ※50音順 磯辺文雄、上坂正治、江田 攻、江田久嗣、沖田光弘、長田正勝、栗山芳雄、 武田勇人、名村桂子、能登貴史、林 則雄、堀 豊次、森川武雄、安居時美 ※欠席委員：今川浩美、梅本貴美枝、河合朱希代、齋藤よし子、武田和一、 富井義輝、 [市：出席5名] 事務局 市長政策室長 長澤孝司 市民協働課長 上口長博 " 市民協働係長 三田義弘 " 市民協働係主査 石本 裕 " " 主任 石崎裕子
6 傍聴者	なし
7 会議記録	
(1) 委嘱書交付	新任委員欠席のため、後日委嘱書を届けることを伝えた。
(2) 新任委員の紹介	資料1 委員名簿にて、梅本貴美枝委員を紹介
(3) これまでの経過とこれからの流れの検討	資料2 これまでの経過とこれからの流れの検討について、上口課長から説明。新任委員には、2月19日に勉強会を実施したことを報告。今後の進め方の2案を事務局案として提案。委員で検討を行った。 委員 A：この会議のミッションは条例の見直しだけではないはず。推進会議として「協働」の考え方を推進すること、会議として取り組んだことへの達成感もほしい。 委員 B：条例の見直しはやらなければならない。まちづくり基本条例はまだまだ知られていない。総括するまでもなく提言を見直す流れで進める。また、市民に条例を知らせる活動が必要。

委員 C：活動の上で必要なポイントに絞って検討していけばいいのではないかな。
委員 D：条例の進捗を我々が把握する必要がある。現状を認識することが先決。
委員 E：強みと足りない部分を整理しないと次へ進むことができないのではないかな。運用の延長線上に見直しがある。一度総括することが必要ではないかな。
委員 F：公募委員に参加したが、自分の意見を言うことができないまま進む日程であった。市民目線でみる必要がある。
委員 G：見直し条項は時代に合わせて変化することを目的としている。話をした上で、結果的に見直すのはどうか。
委員 H：条例を変えるポイントを出していけばどうか。条例の認知度は低く、低いままではいかなものか。もっと条例を知ってもらいたい。
委員 I：市民への認知度をあげるのは市の役割。知られていない条例を改正するのはいかなものか。テーマを絞って問題点を明確にすることが必要。
委員 J：条例を全面に出さなくても、内容からアクセスしてもらえようようにしてほしい。
委員 K：条例をわかっってもらうことが条例が生きることではないかな。条例をどのようにして知ってもらえるか。どのように進めるのか。その上で、見直しの是非がある。
委員 L：提言に対する対応を見て、考えずして改正を考えるのはいかなものか。わかりにくい表現などがあれば注釈等をつけることもできるのではないかな。
委員 M：現状を見た上で、必要に応じて対応するのがいいのではないかな。どう幸福感を持ってもらえるかを考えて取り組んでほしい。
委員 N：意見を聞いていると、提言に対する運用状況を検証しないと進められないのではないかな。条例として何を求めるのか考えることが必要。その結果として見直しを考える流れとなる。
事務局：必ずしも条例を改正しなければいけないわけではない。見直しをすることが必要とっている。市役所に任せておいてもうまくいかないとの意見であれば、より具体的な提案をいただきたい。
委員 A：やはり、提言に対する取組の検証が必要だと考える。
委員 N：進め方について図りたい。前期は部会に分かれ進めたが、進め方に対する意見はないかな。
委員 J：全体で検討することも大切。その上で、部会等に分かれることはよいと思う。
委員 F：全体での意見交換は必要。その上で必要に応じて部会での検討を行えばどうか。
委員 N：課題を全体で積み上げて、問題のある点をまとめ部会でさらに検討を行うのはどうか。
委員 C：部会に分けると多く発言ができることから賛成したい。
事務局：原則「市民が主体のまちづくり」ができていない。「市民が主体」の部分について考えてもらえばどうか。
委員 B：条例をみんなが知っている必要があるのか。ないのではないかな。必要になったときに始めてみる人がほとんどだと思う。

	<p>委員 F：「協働」ができていないのかチェックすることが必要、条例が知られることが目的ではない。市民に見えることを行う必要がある。</p> <p>委員 A：運用をチェックすることが大切。</p> <p>委員 I：何を議論するのか。結果から必要があれば改正。</p> <p>委員 N：みなさんの意見をもらいながら進めることでまとめていきたい。</p>
(4) 協働のまちづくり推進会議からの提言とその対応について	<p>資料3 「提言概要及び対応状況」に対するご質問ご意見について、上口課長より説明。質問については口頭で回答した。</p> <p>A 委員より、文書での回答となるよう資料の修正が求められ、資料3については、回答事項を記載した資料として、後日送付することとなった。</p> <p>委員 D：会議の公開等が十分になされていない。情報共有を徹底してほしい。 事務局：行政にも市民にも命令を出してもらわなければならないかもしれない。</p>
(5) 今後の進め方について	<p>資料4 「協働のまちづくり推進会議全体スケジュール（案）」、資料5 「南砺市協働のまちづくり推進会議（H26～）の進め方（案）」について、上口課長より説明。スケジュールを念頭におき、進め方の協議を行った。</p> <p>林委員長：今後の進め方についてどのようにすればよいか</p> <p>委員 A：問題点は何か。条例の運用はどうか。積み上げた上でまとめて検討すればいいのではないか。前期と同様に、運営委員会をもうけ、進め方について議論するのはどうか。</p> <p>委員一同：賛成</p> <p>委員 N：運営委員は委員長、副委員長のほかに、自薦・他薦での立候補でどうか。</p> <p>林委員長、江田攻副委員長、磯辺委員、沖田委員、名村委員、能登委員が運営委員に選出された。</p> <p>欠席委員の方には、事務局から意志確認を行うこととなった。</p>
(6) その他	<p>委員 A：提言書が市ホームページで見ることができない。</p> <p>事務局：市ホームページで確認できるようにする。</p> <p>副委員長が挨拶し、会議を閉じる。 終了20時50分</p>